家畜衛生広報



平成27年度 第2号



子牛を寒風から守るには!?

秋も深まり、冬の気配が近づいてきました。厳冬期には氷点下になることもあります。 風邪を予防するため、子牛を寒さから守るにはどうすればよいのでしょうか?

<飲み水は暖かいものを>

水は生きていくために必要ですし、第一胃が成長するためにも必要になります。乳に も水が含まれますが、食道溝反射という仕組みによって第一胃には乳が入らないように なっています。ですので、いつでも好きなだけ水が飲めるようにしてあげてください。

さて、寒い冬には、飲み水をお湯にするとよいと言われています。私にも経験がありますが、寒い中で冷たい水を飲むのは、辛いものです。また、 実際冷たい水を飲むことによって体温が低下し、風邪をひいてしまう可能 性もあります。

<お湯を給与する効果は・・・?>

実際に水を飲んだ場合、どれぐらい体温が下がるのでしょうか?計算してみたところ、 以下のような結果になりました(計算式は複雑なので、割愛します・・・)。

- ①体重 50kg、体温 38.5 ℃の子牛に、15 ℃の水を 1 リットル与えた場合 →体温は 0.55 ℃下がって 37.95 ℃に
- ②同じ子牛に、30℃の水を1リットル与えた場合
 - →体温は0.2 ℃下がって38.3 ℃に



この計算は理論値なので(しかも一気飲みが前提なので・・・)実際これほど下がることはないはずです。しかし、① (15 \mathbb{C} の水) の場合は 0.55 \mathbb{C} も体温が下がると出ており、これだと手で触れて体温の低下がわかるほどだと思います。やはり、飲み水を暖かくするのは重要ですね。

万が一、計算式を知りたい方は・・・渡邉にお声かけください。

<他に寒さから子牛を守る手段は・・・?>

- ○生まれたての子牛は、必ず藁やタオル等で拭いて乾燥させる
- ○腹巻きや首巻きを巻く(そこにカイロを入れると、更に暖まります)
- ○床は乾いた敷料でふかふかに (床からの寒さを遮ります)
- ○ヒーター等で暖める(火事にならないように注意しましょう)
- ○第一胃内の発酵によって、身体の中から暖かく (第一胃の発達には、早めのスターター給与や水の給与が重要です)



寒暖差が大きく、免疫力の低下しやすい冬には、伝染性の呼吸器病や下痢が発生しやすくなります。もし、風邪や下痢にお気づきの場合は、早めの診療をご検討ください。











養鶏農家のみなさまへ ~今季も鳥インフルエンザにご注意を!~

(韓国発生状況、農林水産省 HP、9月28日現在)



渡り鳥が飛来する季節になり、宍道湖や中海で カモ類等が見られるようになりました。

韓国では、2015 年 6 月以降高病原性鳥インフルエンザ (HPAI) 発生がありませんでしたが、9 月 14 日に再発し、9 月 22 日までに7 農場での H5N8 亜型 HAPI 発生が確認されています。

また、台湾で 8 月 8 日に H5N2 亜型 HPAI、中 国で 8 月 6 日に H5N6 亜型 HPAI が発生していま す。

このように、近隣諸国において HPAI の発生が みられており、これからの時期に飛来する渡り鳥

はこれらの国々を経由してウイルスを国内へ持ち込む可能性があるため、飼養衛生管理 基準を遵守しウイルス侵入防止に努めてください。

牛、豚農家のみなさまへ ~口蹄疫等の伝染病侵入予防を!~

2015年10月18日現在、近隣の韓国や台湾では5月以降の口蹄疫発生は確認されていません。東アジアにおいて最後に口蹄疫の発生が確認されたのは、10月2日モンゴルにおいてです。東アジアにおいては口蹄疫ウイルスがまん延していると考えられるため、いつ日本に侵入してもおかしくありません。

口蹄疫ウイルス等の病原体を農場に侵入させないために、〇**海外からの物品や海外旅** 行から帰国して間もない人を農場へ入れない、〇関係者以外は農場への立ち入りを禁止 する、〇関係者が農場へ立ち入る際には、車のタイヤ周りや人の靴裏消毒を行う等、飼 養衛生管理基準の遵守をお願いいたします。







泡沫性流涎(黒毛和種)

舌の水疱(初期)(ホルスタイン種)

鼻平面の潰瘍

蹄冠部皮膚のびらん

上の写真の様な症状にお気づきの場合、速やかに家畜保健衛生所へご連絡ください!

島根県松江家畜保健衛生所

○本 所(島根県東部農林振興センター松江家畜衛生部)

〒 699-0109 松江市東出雲町錦浜 474-2

TEL (0852) 52-5230 公用携带 080-1935-0883 FAX (0852) 52-3377

○隠岐支所(島根県隠岐支庁農林局家畜衛生部)

〒 685-0015 隠岐郡隠岐の島町港町塩口 24

TEL (08512)2-9690 公用携帯 080-1935-0886 FAX(08512)2-9657